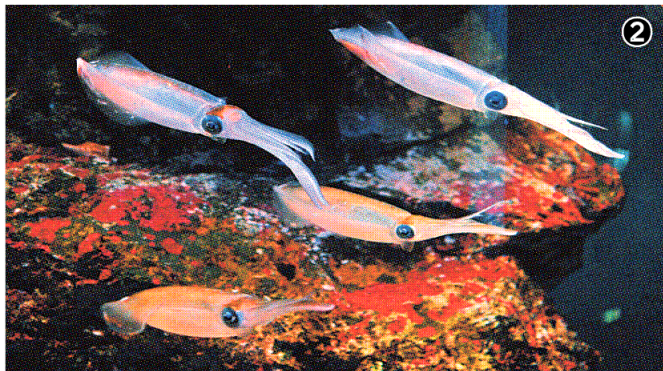


①水槽内のアオリイカの様子。右の写真は左の写真の3秒後。移動するにつれ、背景に合わせて体色が黒く変化しました②遊泳中のアオリイカ。背景の岩に近い、赤みを帯びた色になっています③体を透明にして擬態するスルメイカ④トラフコウイカ。砂地で目立たない模様になっています



みなさんは、かくれんぼをする時にどうしますか？ 周りの景色に溶け込んで隠れますか？ それとも、鬼役の人を混乱させて逃げますか？
海の生き物も、敵に見つかって食べられないようにかくれんぼをします。文字通り命がけのかくれんぼですね。方法はいろいろで、例えば、自分の存在をほかの何かに似せて隠れたり、自分の存在を完全に見えなくしたりすることもあります。これを「擬態」といいます。



イカのさまざまな擬態

その能力は、実は種によって微妙に異なります。ヤリイカやスルメイカは自らの体を透明化して隠すことに長けていますし、コウイカやアオリイカは周囲の環境に合わせて擬態することになっています。

主に海の底で生活するコウイカは砂地や岩に、遊泳生活を主とするアオリイカは背景そのものに擬態することが多いようです。特にアオリイカは、体を半分ずつ別の模様にすることもできるなど、視覚的なカムフラージュが得意です。

しかし、イカは色を知覚できないと考えられています。どうしてこのようなことができるのか、いまだ正確には分かっていません。2020年には興味深い研究成果が報告されました。アオリイカの脳をMRIで調べたところ、イヌ並みに複雑な脳を持っている可能性が示されたのです。こうした複雑な脳が、彼らの能力の源なのかもしれません。

(海獣展示係獣医師・濱野剛久)